

PRESS RELEASE

2017年4月3日

株式会社アイビス・キャピタル・パートナーズ

アイビス・キャピタル・パートナーズと株式会社アウトソーシングが 共同でプライベートファンドを設立

株式会社アイビス・キャピタル・パートナーズ（東京都中央区銀座四丁目 12 番 15 号 歌舞伎座タワー20階 代表取締役社長 中條 喜一郎。以下、「アイビス・キャピタル・パートナーズ」といいます。）と株式会社アウトソーシング（東京都千代田区丸の内一丁目 8 番 3 号 丸の内トラストタワー本館 19F 代表取締役会長兼社長 土井 春彦。以下、「アウトソーシング」といいます。）は、共同で「OS 投資事業組合」（以下、「当ファンド」といいます。）を設立いたしましたので、お知らせいたします。

【背景・目的】

アウトソーシングは、中期経営計画「VISION 2020：新フロンティア創出への挑戦」を掲げ、国内のアウトソーシング事業においては、改正労働者派遣法及び改正労働契約法に伴う「雇用の2018年問題」に際し業容拡大を戦略付けております。アウトソーシングの国内技術系アウトソーシング事業においては、単なる人材の提供にとどまらず、プロダクトとともに技術者派遣を提供するケースが全国で拡大しております。一方、中小企業が多い技術系派遣事業者の中には、規模が小さく新法の要件を満たせないものの、優れた技術力等により今後成長が期待できる企業が多数存在するため、これら高付加価値企業との接点強化を模索されておりました。

そこで、アイビス・キャピタル・パートナーズは、アウトソーシングと共同で当ファンドを立ち上げ、新しい技術やサービスを持つ企業等のなかで、アウトソーシンググループが持つ顧客基盤や営業力をはじめとするリソースを活用して、ともに成長する事業シナジーが期待できる企業等を発掘し、出資を通じた育成や多面的な経営支援を行い、双方のシナジーを高めるサポートを提供して参ります。

【ファンドの概要】

(1) フォンド名	OS 投資事業組合
(2) 設立日	2017年4月3日
(3) 規模	総額100億円を上限
(4) 運営会社	株式会社アイビス・キャピタル・パートナーズ
(5) 出資者	株式会社アウトソーシング 株式会社アイビス・キャピタル・パートナーズ 他
(6) 投資対象	アウトソーシンググループとの事業シナジー効果を見込め、今後成長が期待できる企業等の株式（新株予約権付社債券を含む。）等